



安堵の町の片隅で、ふわりと心惹かれる仏さまに出会った。

平楽寺地蔵堂の十一面観音、

平楽寺は、明治の初めに廃寺になり、本尊の地蔵菩薩や残された仏さまを、寺垣内の人達、この地蔵堂でひっそりと守ってこられた。

ところが、地蔵堂も守っている人も高齢化、仏さまには他へ移っていただく話が出ているそう。

この十一面観音様は江戸時代初めの御作、長い間この小さな町で過ごされたが、もうすぐ旅立たれるかもしれないのです。

平楽寺は安堵の太子道沿いの飽波神社の南に隣接、江戸時代には二間四方のわら葺きの本堂に、本尊の地蔵菩薩が安置されたと伝えられる寺です。筒井順慶の叔母のヲコイ（良明比丘尼）さまが再興したという話が残されていますから、それ以前からあったのでしょう。

明治の初めに廃寺に。本尊はじめ、脇侍の十一面観音、弘法大師像の安置される仏像は江戸時代と聞きました。

(安堵町／平楽寺地蔵堂 2020-07/01)